

予後良好群	
セミノーマ	非セミノーマ
・ 原発巣は問わない ・ 肺以外の臓器転移を認めない ・ AFPは正常範囲 ・ hCGは問わない ・ LDHは問わない ※5年非再発率82%、5年生存率86%	・ 精巣または後腹膜原発 ・ 肺以外の臓器転移を認めない ・ AFP<1,000ng/mL ・ hCG<5,000IU/L ・ LDH<正常上限値の1.5倍 ※5年非再発率89%、5年生存率92%
予後中等群	
セミノーマ	非セミノーマ
・ 原発巣は問わない ・ 肺以外の臓器転移を認める ・ AFPは正常範囲 ・ hCGは問わない ・ LDHは問わない ※5年非再発率67%、5年生存率72%	・ 精巣または後腹膜原発 ・ 肺以外の臓器転移を認めない ・ $1,000\text{ng/mL} \leq \text{AFP} \leq 10,000\text{ng/mL}$ ・ $5,000\text{IU/L} \leq \text{hCG} \leq 50,000\text{IU/L}$ ・ 正常上限値の1.5倍$\leq$LDH$\leq$10倍 ※5年非再発率75%、5年生存率80%
予後不良群	
セミノーマ	非セミノーマ
該当なし	・ 縦隔原発 ・ 肺以外の臓器転移を認める ・ AFP>10,000ng/mL ・ hCG>50,000IU/L ・ 正常上限値の10倍<LDH ※5年非再発率41%、5年生存率48%

※非再発率および全生存率に関して、1997年に報告された当時のものであり、近年の報告では、成績は向上している。
特に非セミノーマの予後不良群の向上は目覚ましく、約70-80%の全生存率を得られる。